

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	+ laugh		
○保護者評価実施期間	2025年1月1日		2025年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年1月1日		2025年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域との関わり	事業所の中に、地域の方々が気軽に手に取れる関わりしろを置いておくことで、自然な形で地域と関わり合い、福祉を地域に開く取り組みを行っている。	多様な地域の方々との日常的な関わりを持てるように、関わりしろを増やしていくと共に、イベントの企画運営も実施していく
2	活動プログラムの多様さ	プログラムが固定化しないように、多様な提案を行っていく。また、スタッフが提供し、ご利用者が受益するという形ではなく、ご利用者が主体となるようにプログラムの組み立てを心がけていく。	ご利用者様一人一人の特性や興味関心を理解し、プログラム立案及び実践を充実させていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発災時対応の周知・発信	定期的なマニュアルの更新及び、実態に即した避難訓練等の周知や発信が不足している。	開催している防災委員会の中で必要なマニュアルの更新を実施していく。また、避難訓練や防災備品の整備の確認を年間スケジュールの中で実施していく。
2	保護者同士の交流機会の確保	事業所を開放し、年1回は保護者会を開催しているが、頻度やテーマごとの開催が十分行えていない。	保護者会や気軽に交流できる機会を確保すると共に、テーマを定める事でより具体的な相談が出来るように取り組んでいく。
3			